

「はばたく力」を育むために！

コミュニケーション

子は親の鏡



善悪の判断基準、社会のきまり、社会に通用するマナーを身につけさせるには、親の背中が一番のお手本になります。



自分の考え、判断で行動しようとする自我の目覚めの時期こそ、親は毅然とした態度をとりつつ、子どもの話にじっくり耳を傾け、必要に応じて助言することが大切です。

地域参加



地域ボランティアや行事などに関わることで、知識や技術とともに、協働の心や地域への愛着が育まれます。そして、そこから、「地域の子育て」も始まります。

責任分担



家庭の内外で責任ある仕事を分担したり、責任を果たす努力をするなど、日々の生活における一つ一つの小さな努力や我慢の積み重ねが、身も心も大きく育てます。

家庭教育の ルールその③ 長岡京市教育委員会

親の壁



「わが家の、これだけは絶対守らなければならないこと(親の壁)」は、家族の一員としての自覚やわが家への愛着を深めるとともに、社会に翔く原動力になります。

見守り



親は子どもの適性を理解し、認め、自信をもたせるとともに、子どもが夢をもち、自らの進路について主体的に考えられるよう、温かく見守り支えることが大切です。